



国立大学法人

大阪教育大学

〒582-8582 柏原市旭ヶ丘4-698-1

<http://osaka-kyoiku.ac.jp/>

PRESS RELEASE (2011/11/01)

没後五年企画 「灰谷健次郎－母校 大阪学芸大学（現 大阪教育大学） から始まる創作への道－」 ◇シンポジウム『学び教え創った人間』への参加ご案内◇

『兎の眼』（第8回日本児童文学者協会新人賞）『太陽の子』（第1回路傍の石文学賞）などの児童文学で知られる、作家 灰谷健次郎は、昭和29年に大阪教育大学の前身である大阪学芸大学に入学、卒業後は17年間にわたって小学校で教員生活を送りました。

「教師 灰谷健次郎」としての経験は、彼の創作にどのような影響を与えたのでしょうか。

灰谷健次郎が没して5年、シンポジウムでは、いま、彼が学び、教え、そして創ったものに光を当て、本学ゆかりの、教育者としての灰谷健次郎のしごとを知っていただく機会としたいと思います。奮ってご参加ください。

■シンポジウム

と き：2011年11月23日(水、祝) 13時30分～15時30分（受付開始13時）

と ころ：大阪教育大学天王寺キャンパス・ミレニアムホール

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

（交通便）JR環状線 寺田町駅より徒歩5分 天王寺駅より徒歩10分

パネラー：岸本進一（元灰谷健次郎事務所主宰）

灰谷政之（太陽の子保育園園長）

コーディネーター：園田 雅春（本学教授）

■灰谷健次郎の写真・肉筆原稿・他原画等の展示会

と き：平成23年11月1日(火)～11月25日(金)

と ころ：大阪教育大学附属天王寺分館（天王寺キャンパス東館2階）

開館時間：平日13時～21時30分 土曜日13時～21時

（日祝日休館、ただし11月23日は見学可能）

■ 掲載日

平成23年11月20日

■ 媒体

読売新聞

■ 見出し・番組名

灰谷健次郎さん没後5年シンポ